

好生館だより

KOSEIKAN
DAYORI

2020.4

Vol. 46



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL 0952-24-2171 (代表) FAX 0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>



写真:佐賀県医療センター好生館看護学院開校式

CONTENTS

[メッセージ]

理事長あいさつ／館長あいさつ……………1

[好生館ニュース]

佐賀県医療センター好生館看護学院開校しました／
県民向け講演会「まあるい死」を開催しました 他 ……2

[診療科の紹介]

リハビリテーション科／放射線科 ……3

緩和ケア科／脳神経外科 ……4

看護部だより ……5

外傷センターの紹介／中央診療部の紹介／栄養管理部だより ……6

登録医療機関のご紹介
(草場整形外科, いなだ小児科・アレルギー科, 志田内科) ……7

お仕事の話／薬剤部だより／事務部だより……………8

新任医師の紹介……………9・10

外来医師一覧表 ……11

Message

—メッセージ—



理事長 桐野 高明

理事長あいさつ

医師不足と地域医療

厚生労働省が公表した医師偏在指標のデータによれば、佐賀県は比較的医師が多い県（全国11位）とされています。しかし、県の地域医療に関する会議などに出席すると、今後医師をどのように確保するかという問題がいつも議題になります。統計データでは多いとされていても、医療の現場では医師の不足感が強く、将来を心配する声が聞こえるから、会議で取り上げられることになるのでしょうか。医師の不足感の大きな原因の一つは、医師の偏在問題です。必要な医師の数は、人口10万人あたりの医師の数で比較されることが多く、先進諸国に比較すれば日本はやや少ない方に属します。もし医師が

理想的に分布していれば、今よりずっと問題は改善するはずですが、医師が理想的な分布をしておらず、分布に偏りがあれば、その偏りが強いほど医師は余分に必要となります。今後人口が減少し、高齢者の割合が増加すれば、疾病構造も大きく変化します。これから10年後、20年後程度の未来であれば、それがどうなるのかはかなり正確に予測できます。「すでに起こってしまった未来」には、これまで通りを維持するのではなく、新しい工夫が必要になることは明らかでしょう。先進諸国よりはやや少なめの医師数でも、適切な地域的な分布を実現し、また産科や外科などの医師は貴重な医療資源と考えて、その能力が最大限に発揮できるような配置を考え、人材を有効に活用すれば、未来に対処できる可能性があります。佐賀県の医療改革が進むことを願ってやみません。

館長あいさつ

好生館の災害対策としての医療

令和2年となり新型コロナ(COVID 19)肺炎の騒ぎが世界中を駆け巡っております。当館は第一種感染症指定医療機関として、多少の混乱はありながらも冷静に対応を続けておりますが、1日も早い収束を願うばかりです(3月上旬時点)。

当館は「基幹災害拠点病院」「2次被ばく医療機関」でもあります。九州電力玄海原子力発電所に何らかの事故が生じた場合、半径30km以上離れたエリアでの汚染や被ばくを受けた傷病者の対応が求められます。県主催の原子力防災訓練の「被ばく傷病者受け入れ訓練」で、毎年医師を含む多数の職員が有意義な体験をしております。遅ればせながら私も先日「原子力防災基礎研修」を受講しました。放射線の基礎知識を再確認し、内部被ばくを測定する移動式のホールボディカウンター車も見学しました。除染の実習では、逆に汚染を拡大させてしまうという恥ずかしい結果となり、日頃の訓練の重要性を強く実感いたしました。

あってはならない、あってほしくない災害ではありますが、有事の際には迅速に対応できるよう、万全の体制整備、訓練を継続してまいります。



館長 佐藤 清治

佐賀県医療センター好生館看護学院 開校しました

看護学院
事務室 係長 宮口 あや

春らしい陽気の中、桐野高明理事長の開校宣言で「佐賀県医療センター好生館看護学院」が開校し、希望に満ち溢れた学生を迎えました。

本学院は、看護学科(修業年限3年、1学年定員40名)と助産学科(修業年限1年、定員12名)の2学科を持ち、看護の専門的な知識と技術をもって、県民の健康と生活を支え、社会貢献できる看護職を養成するとともに、常に学問への探求心をもち自ら成長できる看護職の養成を教育理念とします。

好生館等での実習経験を活かし、自ら考え行動できる、また、患者の気持ちに寄り添う感性を持った看護学生を育てていきます。

職員は、無限の可能性を持った学生たちが、安心して充実した学生生活を送れるよう、サポートしていきたいと思っています。

好生館で本学院の看護学院生を見かけましたら、どうぞよろしくお願ひいたします。



県民向け講演会 「まあるい死」を開催しました

介護支援専門員 鬼崎 真澄

佐賀県看取り普及啓発事業として、野の花診療所 院長 徳永進先生による講演を、1月18日午後2時からアバンセホールで開催しました。

自宅や診療所で過ごす患者さんとのエピソードを、笑いあり・涙あり、そして時々ハーモニカの演奏を織り交ぜてお話いただきました。県民の方々が看取りを考えるきっかけになりました。



令和2年度新規採用職員辞令交付式

総務課人事係
係長 釜田 里奈

令和2年度の新規採用職員に対する辞令交付式を、4月1日(水)に多目的ホールで行いました。今回の辞令交付式で、医師56名(初期臨床研修医25名を含む)、看護師45名、薬剤師等コメディカル14名及び事務職員等2名の総勢117名が好生館職員となりました。また、令和2年度から法人の施設となりました佐賀県医療センター好生館看護学院には2名が看護教員として看護学院職員となりました。病院と看護師等養成所の新体制がスタートしました。



厚生労働省 仕事と治療の両立支援 モデル事業 冊子を作成しました

がん相談支援センター
係長 大石 美穂

仕事とがん治療の両立に向けて、厚生労働省より「お役立ちノート」が発行されています。このノートは社会から孤立しがちな患者さんが、確かな情報を掴み意思決定の助けとなることを目指して多くの患者さんや患者支援団体、企業からの声が反映されたものです。

好生館では、このノートを必要とする皆様に広く知って頂き、手元に届けるために「お役立ちノートを活用しよう!〜ひとりじゃないよ。さあ、一歩をふみだそう〜」をテーマとしたシンポジウムを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止を鑑み、中止となりました。

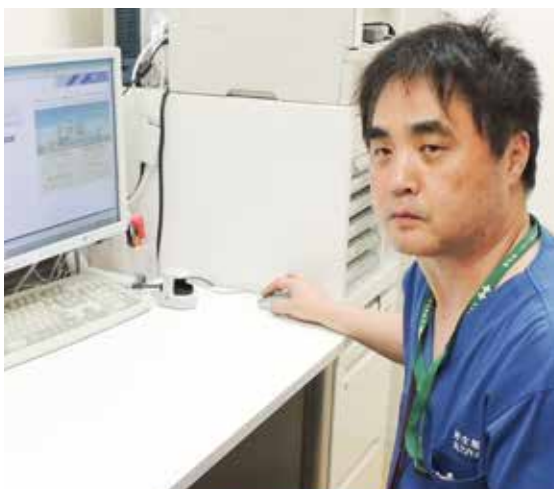
そこで、好生館では出来ることを考え、シンポジウムの主旨をとりまとめた冊子を作成しました。患者さんやご家族、企業、支援機関、一般の方々に配布しています。



リハビリテーション科

入院しない方がいいけれど…

リハビリテーション科部長 山之内 直也



特に嚥下のリハビリテーションに力を入れており、口から食べたい、美味しい物が食べたいという思いをお手伝いできたらと思っています。

好生館は「佐賀県民に寄り添う病院」を目指していますが、行かなくて済むなら、行かない方がいいに決まっています。入院は尚更です。ですから、かかりつけの先生や当館の医師の言うことをよく聞いて守ってください。適度に運動して、もらったお薬をちゃんと飲んで健康管理をしてください。それでも万が一悪化してしまったら…。そのときはリハビリテーションが元気になるのをお手伝いします。

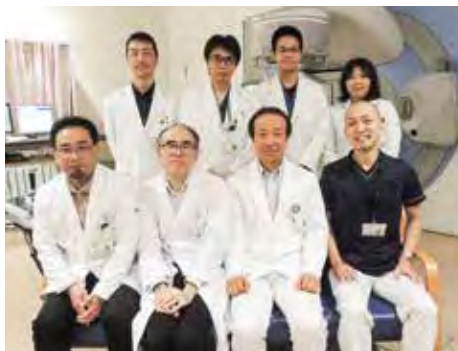
当科は高島リハビリセンター長、片淵技士長を中心とした30名の療法士と一緒に診療にあたっています。



放射線科

放射線科は県民の皆さんの健康のため貢献します

我々の基本理念は『画像診断、放射線治療、画像下治療を通して佐賀県民に貢献する』ことです。昨今マスコミを賑わせている『画像診断報告書の確認不足/遅延』を改善するために、報告書既読の有無を一括して管理できるシステムを医療安全管理部、医療情報部と協力して、いち早く昨年度に導入しました。その結果、既読率の向上が得られ、現在はほぼ100%となりました。また対応を急いだほうが良いと思われる患者さんの報告書(想定外の悪性腫瘍や急性疾患、活動性結核等)では、報告書作成時に放射線診断専門医が『重要フラグ』を明示し、主治医に直接電話で連絡するようにしています。



副館長
放射線科部長 相部 仁



日々“放射線機器の整備”に務め“安全な放射線検査”を施行して、“正確な画像診断”と“最適な放射線治療・画像下治療”を、好生館を受診するすべての患者さんに提供することを目標に、放射線部看護師、診療放射線技師と共にチーム一丸となって今後も邁進していきます。

緩和ケア科

「治療と療養を支える緩和ケア科」

緩和ケア科部長 小杉 寿文



緩和ケア科が病気の治癒を目指す治療をするのではありませんが、痛みがなく安心して治癒を目指した治療に専念して頂くことで、結果的に病気と闘える・うまくつきあえることができれば良いのではないかと考えます。

「緩和ケア」とは、病気によって生じる身体の辛い症状、心の辛い症状を緩和する＝和らげるものであります。がんだけではなく、心不全や神経難病などあらゆる病気で「辛さ」があれば緩和ケアの対象です。決して末期だけのものではなく、病気がわかった時点から緩和ケアによって安心して治療に望める環境を作ることが重要です。好生館の緩和ケア科では、麻酔科・ペインクリニックの技術を活かして、神経ブロックや医療用麻薬などを安全に駆使して、痛みを少なくした状態で治療や療養していただける事を



脳神経外科

好生館脳神経外科をよろしくお願ひします

坂田修治前部長の後任として、2019年4月より松本健一が部長を担当しております。2015年4月に好生館に赴任し、今年度で6年目となります。得意分野は脳血管障害の直達術、良性脳腫瘍の手術、下垂体腫瘍の手術などです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

好生館脳神経外科は脳卒中センターの一員として脳血管障害の外科治療を担当する傍ら、頭部外傷や脳腫瘍、水頭症など脳神経外科全般にわたり幅広い診療を行っています。

特筆すべきは脳卒中センターです。脳血管外科医3



名と脳神経血管内治療専門医4名

を加えて、機械的血栓回収療法から複雑な脳血管障害の外科手術まで診療科の垣根を越え、チームで協力し合って治療を行っています。昨年(2019年)1年間の手術実績は301例と順調に症例を重ねています。これまで通り、質の高い脳神経外科医療を提供し、佐賀県の脳神経外科診療の一翼を担って参ります。

脳神経外科部長 松本 健一



看護部の実績報告

I. 看護系雑誌執筆

スペシャリストの看護実践について、「エキスパートナース」「BRAIN NURSING」「助産雑誌」の看護系の3雑誌に掲載されました。



エキスパートナースは、全科の看護師がケア・実践の際に参考としている雑誌です。

2019年9月号に「便・尿失禁で臀部の皮膚が荒れるのはなぜ?」というテーマで執筆しました。失禁によるスキントラブルのメカニズム、スキンケアの具体的方法など現場の困り事のヒントにつながる内容を考えました。

皮膚・排泄ケア認定看護師
江口 忍



BRAIN NURSINGは、脳神経疾患病棟ナースのための専門誌です。

2020年1月号に、「グッときた看護記録」のテーマで執筆しました。脳神経疾患患者さんの看護記録から、早期離床へのポイントがわかる内容にしました。

脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師
徳永 香里



助産雑誌は、最新の周産期医療と助産の知識・情報を発信している助産師に向けた雑誌です。

2019年10月号に「特定妊婦への継続支援について」のテーマで執筆しました。地域の専門職と連携し、母と子の長期的な療育支援がわかる内容としました。

母性看護専門看護師
俵 由里子

II. 20演題の学会発表



看護部では「自分たちの看護の成果をまとめ発表しよう」と目標を掲げ、2019年度は20演題の学会発表を行いました。新型コロナウイルスのため、発表できなかった2演題を含めると22演題となります。演題の内容は、救急・集中ケア、皮膚・排泄ケア、小児・母性看護、糖尿病看護、せん妄ケア、入退院支援センターの活動など多岐にわたっていました。発表した看護師から「自分たちの看護が実感できた」、「発表する機会を与えてもらった」との声が聞かれました。2020年度はすでに6演題の登録を済ませています。



外傷センターの紹介

外傷センターの目的～社会生活復帰～



副館長
外傷センター長
前 隆男

2012年救命救急センター内に外傷センターが整備され、以来8年が経ちました。

これまで、年間250例前後の重症外傷患者の入院治療を行い、救急科をはじめとした複数の診療科との連携に加えて看護、リハビリや栄養部門などの手厚いケアによって多く

の機能障害を未然に防ぐ事ができました。一方、人生百年というライフシフトが必要な時代を迎えて、高齢者外傷の機能予後改善も当センターの使命と考えています。今後も佐賀県外傷治療の最後の砦として県民の皆様の期待に応えるように取り組んで参ります。



中央診療部の紹介(病理部)

病理部の安全管理体制について



病理部 部長
森 大輔

昨今、病理検体の取り違い事例が全国の病院から度々報告されており、それにより患者さんに多大な影響をおよぼし医療事故に直接つながってしまいます。当病理部では検体取り違いを起こさないためにバーコードによる一元管理を行っており、また診断時には可能な限りダブルチェックをしています。しかし、臨床医が検体を採取してから病理診断を確認するまでには様々な過程があり、基本的には人による確認が必要となります。

当部では年間6500件の組織診検体と6000件の細胞診検体を取り扱っており、年々増加しています。今後も

細心の注意を払いながら安全性の追求に努めていきます。



栄養管理部だより

♪夏も近づく…♪健康も近づくといいですね



栄養管理部 栄養管理長
小根森 智子

立春から数えて88日目の「八十八夜」。春から夏への境目で気候も安定する時期なので、昔から農作業の目安とされてきましたが、今では「お茶」のイメージですね。茶は、平安末期に栄西禅師が佐賀県の脊振山に植えたのが栽培の最初とされています。

日本でよく飲まれる煎茶や玉露、抹茶などの日本茶(緑茶)は、体にうれしい成分がたくさん含まれています。よく知られているのが、渋み成分のカテキン。殺菌・脱臭・抗酸化作用などに加えて脂質代謝改善も期待さ

れています。他にも覚醒作用のあるカフェイン、虫歯予防のフッ素、ビタミン・ミネラルや消臭作用のあるクロロフィルなども。何より、あのさわやかな香りとうまみ成分テアニンのリラックス作用で、ほっと一息つけるのも魅力ですね。古くは薬として飲まれていたというのもうなずける、すぐれものです。



いりょうほうじん くさばせいけいげか
医療法人 草場整形外科



■〒840-0042
佐賀県佐賀市赤松町 1-9
■TEL 0952-22-9383
■診療科：整形外科、リウマチ科、
リハビリテーション科
■開業：昭和 43 年
■院長：草場 謙



【アピールポイント】

整形外科診療の初期治療と、
方向付けを確実にすることを目指しています。

【モットー】

こちらが聞きたい事を聞くだけでなく、患者さんに話したいことを話してもらい（これには忍耐がいります）、その上でわかりやすい説明をし、安心を与えるように心懸けています。

【趣味、休日の過ごし方】

多趣味です。サガン鳥栖のサッカー観戦をしたり、音楽ではチェロを弾いています。読書では史物が好きです。

【医師を目指した理由】

私は2代目で、父は昭和 30 年頃好生館整形外科の初代部長でした。私も平成元年～7年まで好生館整形外科におりました。

【院長先生から一言】

骨粗鬆症の検査、治療が近年飛躍的に進歩しています。正確な骨の評価を整形外科に是非ご相談ください。

いりょうほうじん いなだしょうにか・あるるぎーか
医療法人 アイクレセント いなだ小児科・アレルギー科



■〒845-0021
佐賀県小城市三日月町長神田 2173-3
■TEL 0952-72-7800
■診療科：小児科・アレルギー科（小児）
■開業：平成 20 年 7 月 14 日
■院長：稲田 成安



【アピールポイント】

病気の治療だけで終わるのではなく、御本人や御家族の心配や不安な気持ちが癒やされるよう、わかりやすい、ていねいな説明を心がけ、優しい雰囲気包まれた小児科診療所でありたいと思っております。

【モットー】

今日できることは、明日に延ばすな。

【趣味、休日の過ごし方】

ニュースを見ること。家族と旅行。



【医師を目指した理由】

私自身が小さい頃よく熱を出しており、健康の大切さ・有難さを子どもながらに実感していた事が出発点かも知れません。

【院長先生から一言】

好生館は、私も小児科医として 1999年から7年間勤務させて頂いた病院で、大変愛着があります。現在も、患者様の診療についての相談・入院加療のお願い等、日々大変お世話になっております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

いりょうほうじん せいわかい しだないか
医療法人正和会 志田内科



■〒840-0054
佐賀県佐賀市水ヶ江 2 丁目7-23
■TEL 0952-23-3720
■診療科：内科・胃腸科・循環器科・
リハビリテーション科
■開業：昭和 22 年 9 月
■院長：志田 正典



【アピールポイント】

1階はクリニックで、外来診療と通所リハを行い、2階に介護医療院と住宅型有料老人ホームを併設しています。介護医療院は医療と介護の両方の機能を備えた施設で、入所者のリハビリにも力を入れており、治療を行いながら離床を促すことで、日常生活活動の向上や嚥下機能の回復などに努めています。私の専門は循環器内科ですが、非常勤の先生方の力を借りて、消化器検査や腹部超音波検査などを行っています。

【モットー】

丁寧な診療を心がけ、かかりつけ医として、患者様方の気軽な相談窓口となることを目指しています。

【趣味、休日の過ごし方】

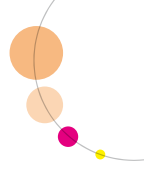
なかなか時間が取れませんが、ドライブ・音楽・スポーツ鑑賞などが趣味です。

【医師を目指した理由】

私は2代目ですが、医師である父親の背中を見て育ったためか、幼少期から地域医療に触れ、いつか自分も貢献出来るようにと、自然に思うようになりました。

【院長先生から一言】

病診（診診・病病）連携を重視し、日頃より基幹病院や近隣の入院医療機関、専門科医療機関の先生方と顔の見える関係を作れるよう心がけています。お互いの持つ機能を有効に活用することが受診者の利益になることですので、地域内でのそのような連携を構築出来るよう努めたいと思います。そのような意味で、好生館は県内医療の最後の砦となる医療機関ですので、いつも頼りにしています。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



知っていますか

お仕事の話

その9 臨床工学技士が益々活躍！

臨床工学技士は通常、血液透析や手術室・心臓カテーテル部門で業務を行っています。

加えて24時間、院内常駐し、上記緊急業務に備えています。

最近では、手術業務である手術支援ロボット（ダヴィンチ）を使う手術（前立腺切除・腎部分切除・胃切除）症例が増え、週に3日間行うことも多くなってきました。

加えて、本年4月の診療報酬改定では、呼吸器外科、肝胆膵外科、婦人科領域の手術も保険適用されており、今後は、毎日ダヴィンチ手術症例が組まれることも想定されます。

手術症例に限らず、医療技術はどんどん高度化し、患者さんへの低侵襲化手技は、さらに進化して

いくと思われます。

我々臨床工学技士も、日々勉強し、これらの高度医療に『One Team』となって貢献していきたいと考えています。

MEセンター
臨床工学技士長
成田 安志



ダヴィンチ手術風景

薬剤部だより

ベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤の適正使用に向けた取り組み

BZ系薬剤は催眠鎮静、抗不安、筋弛緩、抗うつ作用等の薬理作用を有し効果発現も早いことから、不眠症状に対して臨床現場で使われています。一方で問題点として認知機能の低下や健忘の発生、転倒リスクの増大、嚥下障害、依存性などがあります。当院では2017年よりリエゾンチームが発足し、BZ系薬剤の適正使用の取り組みを開始しました。2018年度は病院全体（入院患者への処方量）のBZ系薬剤使用量が、2016年度に比べ約50%減少しました。今後、

BZ系薬剤使用量の減少と誤嚥、転倒・転落発生率の関係性等を検討していきたいと考えています。

薬剤部
八谷 由貴



事務部だより

◇コンビニ移転はなぜ？

患者さんに、より安全に安心して入院前・入院中・退院後まで一貫した質の高い医療サービスを受けていただくために、一昨年4月に入退院支援センターを設置しました。当初は、診療科を限定して運用を開始しましたが、本年度からは全ての診療科に拡大することになりました。

このため、これまでの場所では手狭になり、今のコンビニを改修して、そこに本センターを移設することになりました。これに伴い、現在のコンビニは、本年4月1日に病院南側に移転します。

今より少し遠くなり、皆様にご不便をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

事務部長
松田 篤郎



新任医師の紹介

部長



腫瘍内科
部長
かしわだ ともみ
柏田 知美



小児外科
部長
やまのうち たけし
山内 健

医長



消化器外科
医長
こが ひろき
古賀 浩木



小児科
医長
まえだ としゆき
前田 寿幸



小児外科
医長
たつ た きょうすけ
竜田 恭介

医師



産婦人科
医師
かわきた さおり
北川 早織



産婦人科
医師
おおくま か な
大隈 香奈



小児科
医師
かわさき しろうへい
川崎 祥平



腎臓内科
医師
の なか やすのり
野中 康德



脳血管内科
医師
こもり もとひろ
古森 元浩



泌尿器科
医師
ひらい よしき
平井 良樹



泌尿器科
医師
うおずみ ともはる
魚住 友治

医員



肝胆膵内科
医員
かわぞえ ゆか
川添 夕佳



眼科
医員
しちじょう えみ
七條 絵美



眼科
医員
あらい りつき
新井 律樹



血液内科
医員
さの はるひこ
佐野 晴彦



呼吸器内科
医員
くわはら ゆうき
桑原 雄紀



耳鼻いんこう科
医員
はた やま えりこ
畑山 絵理子



消化器外科
医員
ゆきもと くんぺい
雪本 薫平



小児科
医員
いしだ ゆりこ
石田 有莉



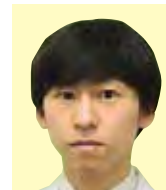
小児科
医員
ちう うほう
張 雨萌



腎臓内科
医員
はしもと こうへい
橋本 康平



整形外科
医員
ささき そうた
佐々木 颯太



整形外科
医員
くらかづ たいし
倉員 太志



糖尿病代謝内科
医員
あいかわ かなこ
愛川 可南子



乳腺外科
医員
くろき るみ
黒木 瑠美



脳神経外科
医員
よこやま あきふみ
横溝 明史



脳神経内科
医員
ほしの ゆうき
星野 有紀



泌尿器科
医員
こもり ひろき
古森 広輝



皮膚科
医員
いわなが ともみ
岩永 知未



放射線科
医員
にいみ みずき
彌富 瑞貴



放射線科
医員
にしら しんや
西原 新也



麻酔科
医員
やいた しんぺい
八板 信介



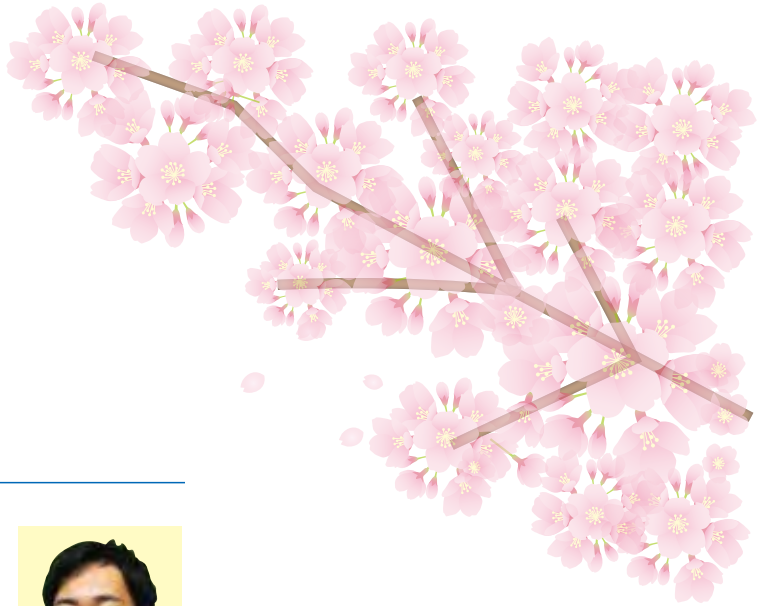
麻酔科
医員
山村 鈴奈



歯科口腔外科
医員
秋浦 覚視



整形外科
医員
貴島 賢



初期臨床研修医 2年次(4名)



医員
犬塚 諒子



医員
小野 翔平



医員
竹下 美穂



医員
江口 紘平

初期臨床研修医 1年次(20名)



医員
江頭 志穂



医員
大谷 剛史



医員
高村 優希



医員
吉住 楓



医員
武富 映典



医員
穴井 智



医員
永島 瑛帆



医員
駒井 傑



医員
小金丸 三璃



医員
谷口 弦太郎



医員
森田 将平



医員
藤本 光



医員
吉富 裕加



医員
力久 哲郎



医員
石川 竣介



医員
水田 一椰



医員
白水 萌子



医員
本河 悠太



医員
黒木 千晶



医員
田嶋 創



外来医師一覧表

(2020年4月10日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。電話：0952-24-2171（おかけ間違いのないようお気をつけ下さい）
 診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。（受付時間は8時30分～11時）土・日曜、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は休診です。
 なお、当館では、原則として予約がなく前回の受診から6ヵ月以上過ぎている場合は、初診扱いとなります。

区		分	月	火	水	木	金
内科	総合内科	新患	竹下 千紘	原野 由美	竹下 千紘	原野 由美	松石 英城
		再来	松石 英城/原野 由美	松石 英城/竹下 千紘	松石 英城(隔週)/原野 由美(隔週)	松石 英城/竹下 千紘	原野 由美/竹下 千紘
	呼吸器内科	新患	担当医	担当医	休診	担当医	担当医
		再来	久保田 未央	加藤 剛	岩永 健太郎/桑原 雄紀	加藤 剛	岩永 健太郎/久保田 未央
		専門外来	—	アレルギー・喘息	—	—	—
	肝胆脾内科	新患	中下 俊哉/村山 賢一郎	古賀 風太	大座 紀子/中下 俊哉	大座 紀子/村山 賢一郎	古賀 風太/担当医
	消化器内科	新患	島村 拓弥	富永 直之	松永 拓也	島村 拓弥	松永 拓也
		再来	富永 直之	緒方 伸一	富永 直之	松永 拓也	島村 拓弥
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	富永 直之(午前)	—
	血液内科	新患	飯野 忠史	佐野 晴彦	横尾 眞子	近藤 誠司	近藤 誠司
		再来	近藤 誠司/佐野 晴彦 /移植後2ヵ月以降外来(午後)	横尾 眞子	近藤 誠司/飯野 忠史	横尾 眞子/移植後2ヵ月以降外来(午後)	—
	腎臓内科	新患	松本 圭一郎	中村 恵	野中 康徳	松本 圭一郎	中村 恵
	糖尿病代謝内科	新患	吉村 達	吉村 達/江頭 絵里奈	江頭 絵里奈	吉村 達/江頭 絵里奈	—
	腫瘍内科	新患	柏田 知美	柏田 知美	柏田 知美	柏田 知美	柏田 知美
	感染症(予約・紹介)	新患	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ内科	午前(新患・再来)	—	末松 梨絵	—	末松 梨絵	—
		午後(再来)	—	—	末松 梨絵	—	末松 梨絵
	消化管内視鏡(責任者)	新患	緒方 伸一	中下 俊哉	緒方 伸一	富永 直之	緒方 伸一
	気管支鏡	新患	加藤 剛	—	桑原 雄紀	久保田 未央	—
	腹部エコー	新患	大座 紀子 古賀 風太	*大座 紀子 *村山 賢一郎 (*隔週で交代)	古賀 風太 村山 賢一郎	中下 俊哉	村山 賢一郎 大座 紀子
透折	新患	中村 恵	松本 圭一郎	中村 恵/松本 圭一郎	中村 恵	松本 圭一郎	
小児科	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
	午後(完全予約制)	アレルギー外来 アレルギー外来 乳児健診 予防接種	神経外来(第2) 内分泌外来 予防接種/循環器外来	循環器外来/内分泌外来 代謝・内分泌外来(第2・4)	神経外来 1ヶ月健診 腎臓外来(第1・3) 神経外来	アレルギー外来 心身症外来(第3) 血液外来(第1・3)	
循環器内科	午前	江島 健一 堤 孝樹	吉田 敬規 中村 郁子	江島 健一 堤 孝樹	中村 郁子 吉田 敬規	三上 剛 酒見 拓矢	
	不整脈外来(完全予約制、新患は水曜午前のみ)	午前	—	(新患)担当医	—	—	
	ペースメーカー外来(午前・予約制)	午後	—	(web予約)担当医	(web予約)担当医	—	
	心臓弁膜症外来(午後)	午後	—	担当医	担当医	—	
精神経科	新患	検査	心カテ	心カテ(午前・午後)	心カテ	検査	
放射線科	放射線診断・IVR	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内科	午前	新患/再来	高島 洋	高島 洋	星野 有紀	星野 有紀	
	午後(完全予約制)	もの忘れ外来 パーキンソン病外来	—	—	高島 洋	—	
脳血管内科	午前	上床 武史	—	—	—	—	
緩和ケア科	午前(再診)	完全予約制	—	小杉 寿文/石川 亜佐子 久保 麻悠子/弓場 哲子	—	小杉 寿文/石川 亜佐子 久保 麻悠子/弓場 哲子	
禁煙外来	午後	完全予約制	—	久保田 未央	江島 健一	寺崎 泰宏(14:30~16:30)	
外科	消化器外科	新患	田中 聡也	久保 未央	奥山 桂一郎(第1・3・5)/佐藤 博文(第2・4)	池田 貯	平木 将紹
		再来	佐藤 博文	平木 将紹	池田 貯 久保 洋(化学療法室)	奥山 桂一郎	田中 聡也/佐藤 清治
	肝胆脾外科	新患	三好 篤	北原 賢二	三好 篤	古賀 浩木	北原 賢二
	乳腺外科	新患	—	手術	白羽根 健吾/黒木 瑠美	手術	白羽根 健吾/黒木 瑠美
	呼吸器外科	新患	手術	寺崎 泰宏	手術	宮本 詩子	手術
	小児外科	新患	山内 健 竜田 恭介	手術	山内 健 竜田 恭介	山内 健 竜田 恭介	手術
眼科	午前	手術	佐々 由季生	手術	佐々 由季生	佐々 由季生	
	午後	検査	七條 絵美/新井 律樹	検査	七條 絵美/新井 律樹	七條 絵美/新井 律樹	
産婦人科	午前	婦人科	金井 督之/八並 直子	安永 牧生/中山 幸彦	—	安永 牧生/神下 優	
	午後	産科	室 雅巳/中山 幸彦	室 雅巳/大隈 香奈	手術日(急患のみ担当)	室 雅巳/金井 督之	
	午後	婦人科(紹介・予約)	手術日(急患のみ担当者)	金井 督之	—	室 雅巳	
	午後	産科(紹介)	大隈 香奈	室 雅巳	—	—	
	(14:00~16:00) 午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。						
耳鼻いんこう科	午前	手術	宮崎 純二/石田 知也 畑山 絵理子	手術	宮崎 純二/石田 知也 畑山 絵理子	宮崎 純二/石田 知也 畑山 絵理子	
	午後	回診・検査	—	回診・検査	—	回診・検査	
泌尿器科	午前	徳田 倫章/諸隈 太平 井 良樹/魚住 友治	徳田 倫章/諸隈 太平 井 良樹/古森 広輝	手術	徳田 倫章/諸隈 太平 井 良樹/魚住 友治	手術	
	専門外来	腎移植	腎移植	—	腎移植	—	
歯科口腔外科	午前・午後	完全予約制	野口 信宏 秋浦 寛視	野口 信宏 秋浦 寛視	野口 信宏 秋浦 寛視	野口 信宏 秋浦 寛視	
形成外科	午前	原田 慶美	手術	回診	手術	原田 慶美	
皮膚科	午後	外来手術	—	フットケア外来	—	外来手術	
整形外科	一般整形	塚本 伸章/岡 和一朗 松下 優	手術	前 隆男/小宮 紀宏 松下 優	手術	塚本 伸章/小宮 紀宏 岡 和一朗	
	脊椎	林田 光正	—	林田 光正/馬場 寛	—	馬場 寛	
脳神経外科	午前	松本 健一/溝上 泰一郎	手術	溝上 泰一郎/井戸 啓介	手術	松本 健一/井戸 啓介	
心臓血管外科	午前	手術	内藤 光三 里 学	手術	川崎 裕満 学	手術	
	午後	—	回診	—	回診	—	
人間ドック	一般	末松 梨絵	井之口 香映子	高島 洋	杉森 宏	井之口 香映子	
	脳ドック	高島 洋	松本 健一	杉森 宏	上床 武史	高島 洋	
	心臓ドック	—	—	—	江島 健一	—	
看護専門外来	ストーマ・床ずれ・失禁(完全予約制)	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	